サナース「EURO TECH FESTA」開催

環境関連機械の輸入販売、アフターサービスを手掛けるサナース（本社＝東京都品川区、阿部智社長）はこのほど、千葉県富津市に新たなテストセンター「サナースソーティングラボ」を開設した。選別技術の先端を行く欧州の高性能設備を多数取り揃えた施設で、高度かつ効率的な選別テストを顧客に提供。センサー選別をはじめ分粒や磁選、風力など様々な工程を最適化できる国内随一のテスト施設になっている。５月27～28日にはテスト見学会「サナース・ユーロテック・フェスタ」を開催。ゼネボーゲン製マテハン機とマルチローダーの見学試乗会も実施した。

選別テスト見学会に多数来場
欧州製設備でソリューション提供

サナースソーティングラボ（SSL）は昨年12月に開設。ドイツ・シュタイナートやシュパレック、オランダ・ニホットなど、欧州で高い実績を誇るメーカーの高性能設備を多数取り揃える。

SSLの最大の特長は、高度選別を行うセンサー選別機の選別テストだけでなく、前処理の工程を含めた実践的なテストを可能にする設備を揃えていることだ。分粒や磁選、風力といった前処理の各工程を重視し、実際の現場に近い条件のもとで検証を行うことができる。

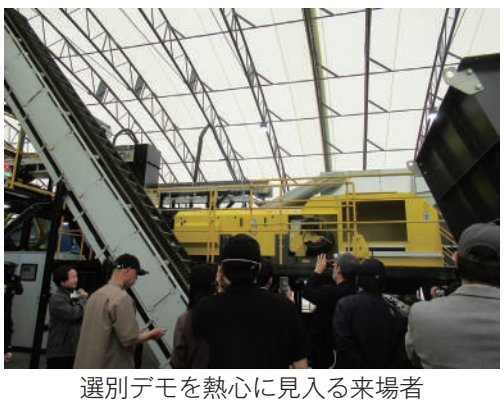
5月27～28日に開催したテスト見学会には、廃プラや金属リサイクルに携わる事業者を中心に計54社95名が来場。当初予定していた参加枠を大幅に増やすほどの盛況ぶりで、高度選別に対する関心の高さがうかがえた。

見学会の冒頭で挨拶に立った阿部社長は「ヨーロッパの最新機器とノウハウを存分に体験いただきながら、皆様のライン設計にお役立てできる情報提供と提案をしたい。ここまで実際の稼働を想定したテスト施設は日本に唯一ではないかと考えている。これからもより良いソリューションと価値の提供を目指していく」と力強く語った。

続いて、ドイツから来日したシュタイナートのヴィヨン・ルーヴェニッヒ氏が挨拶。「この場所は多くのアイデアや技術が試され、高性能ソリューションが実現されるプラットフォームとして機能するだろう」と期待を寄せた。ニホット、ゼネボーゲンの担当者も来日し、見学会に参加した。

欧州製設備の選別能力を紹介した「サナース・ユーロテック・フェスタ」

見学会であいさつする阿部社長


選別デモを熱心に見入る来場者

前処理工程を重視
「４S」プロセス具現化

SSLはサナースが重点を置く選別のプロセス「４S」を限りなく具現化した施設だ。「４S」とはストリームマネジメント（定量供給）、スクリーニング（粒度選別）、セグリゲーション（分別）、ソーティング（仕分け）から成る。この４つの工程を各設備の活用によって最適化することで、材料を「ここまで分ければ事業として成り立つ」と実感できる選別テストを提供している。

金属スクラップの選別デモでは、そうした選別プロセスを実際に設備を稼働させながら紹介した上で、混合スクラップから単一の原料を仕分ける検証を披露。

４種のセンサー（透過Ｘ線・金属・カラー・３Ｄ）を搭載した「ＫＳＳコンビネーションソーター」

混合スクラップから単一原料を仕分ける検証を披露

循環式風力選別機「ウィンドシフターSD i」

選別機「ＫＳＳコンビネーションソーター」が軽金属と重金属、アルミ原料の展伸材と鋳物材、銅線やステンレスを的確に選別していく実演を行い、見学者はその様子をメモや動画にとりながら熱心に見入っていた。

金属スクラップだけでなく、ASR（自動車破砕残渣）や産業廃棄物、プラスチックなど多様な選別テストに対応し、目的に応じた設備の組み合わせで様々なプロセスの比較検討ができるSSL。高性能な機器のスペック紹介だけにとどまらず、前処理の最適化と重要性を体感できる国内随一の総合的なテスト施設として、需要が高まる高度選別に取り組むリサイクラーに寄り添う。今後も最新鋭の設備を拡張していく方針だ。

ゼネボーゲン製マテハン機
見学試乗会も実施

金属スクラップの積み込み作業を実演したマテハン機「835E」

世界最高水準の持ち上げ能力と旋回スピード

「サナース・ユーロテック・フェスタ」ではドイツ・ゼネボーゲン製マテハン機の見学試乗会も実施した。世界最高水準の持ち上げ能力と旋回スピードで高い作業効率を実現する「830」、「835」を展示し、金属スクラップの積み込み作業を実演。来場者はその動きを間近で見学したほか、試乗体験に参加して同機の優れた操作性や視認性を体感した。

マテハン機「830」、「835」はエコモードとアイドリングストップ機能を搭載した省エネ設計。電気式はエネルギーコストがエンジン式の約半分になるため、経済的で環境に優しい機械だ。騒音への配慮も施され、欧州の基準要求値を２デシベル以上も上回る低騒音を達成した。高さ6mのハイキャブに加え、ハンドルレスのため高い視認性と安全性を確保。タイヤ式やクローラ式などカスタマイズ性があり、モジュール方式のためユーザーの用途に応じた幅広い組み合わせが可能になっている。

見学試乗会では、同じくゼネボーゲン製のマルチローダー「355」も展示した。10ﾄﾝクラスの小型ホイールローダーでありながら、大容量のバケットと高いダンピングクリアランスを持つ同機は、大量の材料を効率的に運搬・積み込みができる。

ゼネボーゲン製マテハン機、マルチローダーは日本国内でも認知度が広がっており、近年は導入実績が着実に増加。マテハン機はサナースが２０１８年に開設した木更津マシンパーク（千葉県木更津市）で見学が可能だ。

マルチローダー「355」